

平成25年(2013年)7月25日(木曜日)

富士山国が一元管理を

都内GW三島の渡辺氏講演

NPO法人グラウン
ドワーク三島の専務理
事を務める渡辺豊博都

留文科大教授(63)が24
日、富士山世界遺産登
録後の環境保全をテー

マに、都内の日本記者
クラブで講演した。保
全活動が十分には進ん

でいない表情にも触れ
ながら、「富士山は国

人」が例年訪れている

場の2カ月間で約30万

による一元管理が望ま
しい」と提案した。

演題は「富士山が壊
れる―世界文化遺産登

録後の光と影」。渡辺
教授は、山小屋などに

設置したバイオトイレ
のし尿処理許容量を大

幅に超える登山者(夏
場の2カ月間で約30万

人)が例年訪れている



富士山の環境保全について
講演する渡辺教授
―都内の日本記者クラブ

状況や、依然不法投棄
が絶えない現状を写真
を示しながら説明し
た。行政の対策が常に
後手に回っているとも
指摘した上で、「静岡、
山梨県レベルでなく、
富士山庁を設置するな
どして国が一元管理す
べきだし、富士山の環
境保全立法も必要。環
境の負荷を減らす対策
を学習面を含めて進め
たい」と訴え掛けた。